

No.	質問	回答
1	SOS-KANTO参加施設はSOS-KANTOを通じてJAAM_OHCAレジストリーへ参加しているという認識でよろしいでしょうか？	現時点ではシステム上、SOS-KANTOの症例を登録してもそのままJAAM_OHCAレジストリーに反映されません。反映するためには再度、症例登録をJAAM_OHCAレジストリーにしなおさなくてはなりません。手間がかかるため、JAAM_OHCAレジストリー委員会との話し合いにより、SOS-KANTOに参加している施設は症例登録期間(~2020.3.8)はJAAM_OHCAレジストリーに症例登録がされてなくても、施設としてはJAAM_OHCAレジストリーに参加しているという認識で良いとの意見をいただいています。(2020.10.14Update)
2	登録項目が全て入っていないように見受けられる	システム改修済み
3	蘇生されなかった患者情報を仮登録すると、蘇生された場合の時刻などを埋めないと登録できない仕様になっており(その患者情報は蘇生されていないため、埋めることはできません)、一時保存しかできない状態になってしまっている。	システム改修済み
4	CPAに至った理由：大動脈解離はどこに入るでしょうか。前回SOS-KANTO2012では非心原性の部分に大動脈解離がありましたが、今回のSOSKANTO2017ではどこのカテゴリに入るかご教示ください。	CPAに至った理由から非心原性を選ぶと、脳血管障害、呼吸器系疾患、悪性腫瘍、外因、その他のボタンが現れ、大動脈瘤や解離はその他をチェックします。なお、ウツタイン様式に従って、除外診断から非心原性との診断に至らなかったものは心原性に分類してください。
5	PA連携でポンプ隊が先着しCPRを実施した場合、「救急隊活動記録」はどう記入するのか。	救急隊活動記録はPA連携でポンプ隊が先着しCPRを実施した場合でも救急隊の覚知日、時刻…で記入してください。 コメント(JAAM基本情報)にポンプ隊によるCPR開始日、ショックの実施時刻を記入してください。(ポンプ隊はECG判読はしないという前提)
6	自動胸部圧迫器の使用に関して 救急隊は装着せず、病院に到着してから装着した場合、どう記入するのか。	「院内自動胸部圧迫の使用」の項目で使用したデバイスをチェック
7	4「救急隊活動記録」 「高度な気道確保の試み」に関して 声門上デバイスまたは気管挿管を、試みて失敗した場合と、試みて挿管ができた場合とでは、4の記入は変わらないのか。  救急隊によって声門上デバイスが挿入された場合、7「病院収容後処置」はどう記入するのか。	最終的に気管挿管ができた場合は 高度な気管挿管の試み あり 試みた気道確保の種類 気管挿管 高度な気道確保の成功 成功  なしで結構です。
8	4「救急隊活動記録」「搬送中のECG波形変化」に関して 「初回ECG波形」から変化が無い場合、どう記入するのか。 例えば初回ECGが心静止で、その後も到着まで心静止だった場合は？ 「初回ECG波形」から変化が無い場合は	搬送中のECG波形変化1 VF なし 搬送中のECG波形変化2 無脈性VT なし 搬送中のECG波形変化3 PEA なし 搬送中のECG波形変化4 心静止 なし 搬送中のECG波形変化5 その他 なし
9	救急隊接触時は心静止ではなく、救急隊搬送途中もしくはドクターヘリ・カーに引き渡した後に心静止となった場合は、どう記入するのか。	ドクターヘリ・ドクターカー医師接触=病院収容時刻で活動を記入 それ以外に病院施設到着時刻という項目があります。 適格基準は救急隊に蘇生行為を実施され、病院へ搬送された いいえがありますので、ここで適格基準からはずれません。
10	ドクターヘリ、もしくはドクターカーで患者を搬送した場合に関して 電気ショックをヘリ・カー内で実施した場合はどう記入するのか。	ドクターヘリ・ドクターカー医師接触=病院搬入として活動を記録してください。
11	6「病院搬入後の状態」の「医師接触日」は、カー・ヘリで出動した医師接触時を記入せずに、病院の医師接触時を記入するのか。	「医師接触日」は、カー・ヘリで出動した医師接触時になります
12	カー・ヘリ内で気管挿管を実施した場合、7「病院収容後処置」はどう記入	気管挿管 あり になります。
13	ワークステーションで医療行為を行った場合は、どう記入するのか。	ドクターカー、ドクターヘリの出場と同じになります。 コメント(JAAM基本情報)にその旨を記入してください。
14	集積後のデータの(参加施設への)共有について	①参加施設へのdata配布 2021/3/8の登録終了後、データのクレンジングが完了した時点で共有予定です。今回は中間データ共有はありません。 ②研究発表・論文文化について まずはすでに提出されたPICOによる研究が優先されます。2017 Study 研究終了後(時期はまだ未定です)、関東地方会会員でSOS-KANTO 2017に症例登録を行った施設に対して新しいPICOの申請を募集します。申請されたPICO審査後にdataセットを配布します。 また、前回(2012)のような一般会員向けのデータオープンはしない予定で考えています。